

佐賀市総合計画審議会 答申一覧(案)

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案 [諮問時点]	答申 [修正後]
■総合・地域分科会 [基本構想/03文化・スポーツ/07コミュニティ/10行政経営]							
1	序論・基本構想	序論	5	計画の進行管理について、行政に必要なのはPDCAであるべき。肝心なアクション(A)が欠けていることが問題である。アクションがないために、過去に市が作成した様々な計画が実行に移されず、結果が出ていない事例があった。	評価(See)の中に「Check(評価)」と「Action(改善)」を包含する意図だったが、意見を踏まえ、より区分が明確になるようPDCAの図に差し替える。		 <p>※イメージ</p>
2	序論・基本構想	人口ビジョン	18	1行目のタイトルに「コラム：」とついているが、コラムという言葉の使い方に違和感がある。 【なぜ、出生率が人口……続けるのか?】という表現でいいのではないか。	意見を踏まえて、修正する。	【コラム：なぜ、出生率が人口置換水準まで上がっても、人口が減少し続けるのか?】	【コラム：なぜ、出生率が人口置換水準まで上がっても、人口が減少し続けるのか?】
3	序論・基本構想	将来像	24	<p>[佐賀らしさに対する意見]</p> <p>佐賀市は、豊かな自然と人の心が美しいまちだと感じる。人の手が加えられていない自然や、誠実さ・まじめさ・絆を大切に人の心など、飾らない自然さ・人柄があるのが佐賀市の良さだと思う。</p>	<p>「佐賀らしさ」について、個人個人が考える佐賀らしさがあり、それを明確に定義することは「らしくないもの」を排除するようにも読み取れるので、素案のとおり、将来像のリード文に例示として記載することとしたい。</p> <p>また、いただいた「佐賀らしさ」の意見から、「誠実さ・まじめさ・絆を大切に」や「地域に対する自信や誇りを感じる」といった意見を参考に、リード文を変更する。加えて、水やみどり、特徴的な自然といったワードについても内容に盛り込む。</p> <p>意見いただいた課題感については、リード文中の「佐賀らしさをもっと磨き上げたい」の中に読み込ませたい。</p>	<p>■将来像</p> <p>『佐賀らしさでみんなが上を向くまち(仮)』 (中略)</p> <p>豊かな自然に囲まれながら、都市と調和した便利な暮らしができること。</p> <p>平坦で広い平野の上で、どこまでも続く広い空の下で、のびのびと過ごせること。</p> <p>身近なところに温泉があり、美味しい食事に囲まれていること。</p> <p>ときに街に出かけ、ときにスポーツや文化に夢中になる、そんなワクワクがたくさんあること。</p> <p>暮らす人々がふれあい、つながり合う、あたたかい地域があること。</p>	<p>■将来像</p> <p>『佐賀らしさでみんなが上を向くまち(仮)』 (中略)</p> <p>豊かな自然に囲まれながら、都市と調和した便利な暮らしができること。</p> <p>平坦で広い佐賀平野の上で、どこまでも続く広い空の下で、のびのびと過ごせること。</p> <p>有明海に面し、嘉瀬川や筑後川が流れ、縦横にクリークが巡る、水の豊かさを感じられること。</p> <p>脊振・天山山系の山々の恵みを感じられる暮らしができること。</p> <p>身近なところに温泉があり、美味しい食事に囲まれていること。</p> <p>ときに街に出かけ、ときにスポーツや文化に夢中になる、そんなワクワクがたくさんあること。</p> <p>暮らす人々が信頼し、ふれあい、つながり合う、そんなあたたかい地域があること。</p>

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
4	序論・基本構想	将来像	24	<p>【佐賀らしさに対する意見】</p> <p>女性にやさしいまちになってほしい。若い世代に、女のくせにが未だにあると思う。女性が主流で進める分野を設けることや、標語や川柳など人の目に触れる場所で女性が活躍するまちであることを示すことなどによって、女性が参画しやすいまちにできると良いと思う。</p>	No.3と同じ	No.3と同じ	No.3と同じ
5	序論・基本構想	将来像	24	<p>【佐賀らしさに対する意見】</p> <p>こどもに関する施策を先駆的に取り組んでいるという印象と、市民の人が主体的に動き、それを行政が後押ししているまちだという印象がある。団体や市民が協働してまちづくりを推進しており、結果、市民の自力が高まっていると感じる。他自治体と比較しても市民と行政が良い意味で近く、市民が市民を支えている点は佐賀市の素晴らしいところだと思う。</p>	No.3と同じ	No.3と同じ	No.3と同じ
6	序論・基本構想	将来像	24	<p>【佐賀らしさに対する意見】</p> <p>佐賀らしさの情報発信について、佐賀市は佐賀の魅力を発信することが苦手な印象がある。パルーンやひなまつりなど、イベント時には一時的に盛り上がるが、常設的なものを発信できると良いのではないか。県都であることを活かし、例えば近年売上が低迷している有田焼や唐津焼を扱うアンテナショップのような施設をつくって定期的な陶器市やろくろ絵付け体験を開催するなど、佐賀県の文化を発信する場所を佐賀市に作ったらどうか。例として、徳島県の大塚国際美術館には陶器で作った絵画があり、年間42万人が訪れている。</p>	No.3と同じ	No.3と同じ	No.3と同じ
7	序論・基本構想	将来像	24	<p>【佐賀らしさに対する意見】</p> <p>以前は「水とみどりのまち」とっていたが、今は水がない、水が汚れてしまっている。長崎街道が残っていれば良かったが、エスプラッツができ、川も汚れたままになっていると感じる。</p>	No.3と同じ	No.3と同じ	No.3と同じ

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
8	序論・基本構想	将来像	24	<p>【佐賀らしさに対する意見】</p> <p>子育てのしやすい地域だという印象があるが、自治会の女性の割合がかなり低く、組織内で子育ての悩みを相談できるという観点からも、女性の割合を増やすべきであると考え。まちづくり協議会には女性が増えているが、自治会長には5%程度しかいないため、さらなる取組が必要だと思う。自治会長のうち35%は女性というところもあるので、そういったところへの研修で学びながら、もっと住みよい佐賀市にしたいと思っている。</p>	No.3と同じ	No.3と同じ	No.3と同じ
9	序論・基本構想	将来像	24	<p>【佐賀らしさに対する意見】</p> <p>佐賀らしさを明確に定義する必要はないと考える。行政が佐賀らしさを前面に押し出すと、佐賀らしくなければ排除されるといった雰囲気があるため。</p>	No.3と同じ	No.3と同じ	No.3と同じ
10	序論・基本構想	将来像	24	<p>【佐賀らしさに対する意見】</p> <p>人々が地域の活動に積極的に参加している印象がある。地域に対する自信や誇りを感じる。</p>	No.3と同じ	No.3と同じ	No.3と同じ
11	序論・基本構想	将来像	24	<p>【佐賀らしさに対する意見】</p> <p>豊かな自然をもう少し有効活用できないか。水が汚いと言われるが、近年は下水道の整備によってきれいになってきている。一方、それによって水が少なくなったため、バランスを取れると良いと思う。嘉瀬川ダムなどを活用できれば良いと思っている。</p>	No.3と同じ	No.3と同じ	No.3と同じ
12	序論・基本構想	将来像	24	<p>【佐賀らしさに対する意見】</p> <p>行政において、データ連携など先進的な取組に挑戦し続けている印象がある。県に頼るのではなく、自分たちで作りに上げていく姿勢を感じる。市民においても、自らまちを良くしていく取組が古くからあると感じており、福岡に並ぶ、注目される取組が推進されているまちだと思う。総合計画に書かれている挑戦し続けていくという姿勢にも納得ができるし、上を向くまちというのもしっかりくる。</p>	No.3と同じ	No.3と同じ	No.3と同じ

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
13	序論・基本構想	将来像	24	<p>【佐賀らしさに対する意見】</p> <p>明確な佐賀らしさを一言で表すことは難しいし、決めるべきではないと思う。将来像のリード文で各分野における佐賀らしさはすでに示されているため、その上での佐賀らしさを考えると、新しさや外から入ってくる人を受け入れるやさしさのあるまち、受容のまちだと思ふ。また、まちだけでなく、人とまちが両方元気であってほしいという願ひがある。市民がさらに主体的に動くことで、まちも元氣になっていくと思ふ。</p>	No.3と同じ	No.3と同じ	No.3と同じ
14	序論・基本構想	将来像	24	<p>【佐賀らしさに対する意見】</p> <p>県都でありながらコンパクトであることが佐賀らしさだと感じる。特徴的な自然をもった地域がコンパクトにまとまっているため、それぞれに適切なまちづくりを進めていく必要がある。</p>	No.3と同じ	No.3と同じ	No.3と同じ
15	序論・基本構想	将来像	24	<p>【パブリックコメント】</p> <p>計画の素案には、佐賀城下から続く佐賀の歴史や文化、風土に対する視点が少なく、現代の全国的な課題解決を取り上げたものとなっているため、もっと佐賀市ならではの地域性を観察した計画にすべきであると考えます。</p> <p>佐賀市の平野部は地理的特徴として、低平地に城下町を築くため、たくさんの水路（クリーク）が作られ、その水文化は市民の生活と密接に関わり発展してきた歴史があります。</p> <p>そうした都市の基盤となっているものや、佐賀の中で発展してきた文化や歴史、風土を佐賀市の大切なアイデンティティとして基本に据えつつ、そうした地域資源をさらに磨いていく方策についても、しっかりと明記した方が良くと思います。</p> <p>地方都市として、変化しないことに価値があるものと、時代と共に変化すべきことを明確にし、「佐賀らしさ」の未来をわかりやすく指し示す計画となることを望みます。</p> <p>参考として、同じような文化を持つ柳川市の総合計画では、地域資源の掘割を軸に据えたまちづくりが明記され、地域らしさを市民の生活の質の向上へと繋げていく計画とされています。</p>	<p>「佐賀らしさ」の定義については、総合計画審議会の中でも大きな議論になったところであり、明確な定義を避ける方が良いと考える。一人ひとりが考える「佐賀らしさ」があり、それを明確に定義することは「らしくないもの」を排除するようにも読み取れるので、素案のとおり、将来像のリード文に例示として記載することにしたい。</p> <p>ご指摘の水路（クリーク）を代表する水文化につきましては、「佐賀らしさ」を代表するものとして、将来像のリード文の中に追記する形で整理する。</p>	No.3と同じ	No.3と同じ

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
16	序論・基本構想	将来像	25	<p>【こども・教育・福祉分科会】</p> <p>将来像に向けた目標： 『変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう』 ⇒『変化に向き合い挑み続けることで常に進化し続ける「まち」にしよう』</p> <p>将来像に向けた目標では、「変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう」というのは、「しよう」と「なろう」で主語が何になるか、統一した方が良いと感じた。</p>	<p>○「常に」については、採用する。</p> <p>○「なろう」という表現は、目標を達成するための状態や存在に変化することを強調している。一方、「しよう」という表現は、行動や取組の具体的な実施を強調している。「変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」という目標は、まちが進化し続ける存在になることを強調している。この場合、「なろう」が自然な表現と考える。</p>	<p>変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう</p>	<p>変化に向き合い挑み続けることで常に進化し続ける「まち」になろう</p>
17	序論・基本構想	将来像	25	<p>将来像の中に市民参画の視点が不足しているのではないかと思う。</p> <p>市民も行政サービスをただ受けるだけでなく市民も主体となって参画し、みんなでまちづくりをしていくことが佐賀らしさに繋がると思う。みんなが上を向きつつも、参画したい、参画してよかったというまちづくりを目指していくという文面があればよりよい文章になると思う。</p>	<p>将来像のうち、「まち」の目標において、市民参画の視点を加える。</p>	<p>■ 将来像に向けた目標</p> <p>○変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう</p> <p>…</p> <p>これまでにあった資産や歴史を守ることは前提として、一方で、変化に向き合い進化に変えていくこと、まちが持つ自然や個性、人々のつながりを大切にしながら変わり続けることで、このまちに住む人来る人にとって心地よいまちづくりを進めていきます。</p>	<p>■ 将来像に向けた目標</p> <p>○変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう</p> <p>…</p> <p>これまでにあった資産や歴史を守ることは前提として、一方で、変化に向き合い進化に変えていくこと、まちが持つ自然や個性、人々のつながりを大切にしながら変わり続けることで、このまちに住む人来る人にとって心地よいまちづくりを<b>みんなで</b>進めていきます。</p>
18	序論・基本構想	将来像	25	<p>将来像に向けた目標のフレーズを「どんな人も（どんな「ひと」も）」から「誰もが」に変更するべきではないか。「どんな」という表現が曖昧であると感じる。</p>	<p>意見を踏まえて、修正する。</p> <p>タイトルの『どんな「ひと」も自分らしく幸せに暮らせるまちにしよう』については、本項の3つの目標である「まち」「ひと」「しごと」が分かるように、表現は修正しない。</p>	<p>■ 将来像に向けた目標</p> <p>○どんな「ひと」も自分らしく幸せに暮らせるまちにしよう</p> <p>これから目指すまちづくりは、「ひと」が中心のまちづくりです。人口減少の局面を迎える中では、暮らしの基盤となる経済的な価値だけでなく、一人ひとりの幸福や体験の豊かさといった心の価値の両方を大切にしなければなりません。</p> <p>新しい発想や技術は取り入れる一方で、どんな人も自分らしく暮らせることを大切にすることで、みんなが幸せに思えるまちづくりを進めていきます。</p>	<p>■ 将来像に向けた目標</p> <p>○どんな「ひと」も自分らしく幸せに暮らせるまちにしよう</p> <p>これから目指すまちづくりは、「ひと」が中心のまちづくりです。人口減少の局面を迎える中では、暮らしの基盤となる経済的な価値だけでなく、一人ひとりの幸福や体験の豊かさといった心の価値の両方を大切にしなければなりません。</p> <p>新しい発想や技術は取り入れる一方で、<b>誰もが</b>自分らしく暮らせることを大切にすることで、みんなが幸せに思えるまちづくりを進めていきます。</p>

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
19	序論・基本構想	将来像	25	<p>【くらし・環境分科会】</p> <p>先人が築いてきた過去や歴史をどのように活かしていくかという視点が計画に必要と考える。</p> <p>P25の一つ目の目標について、「これまでにあった資産や歴史を守ることは前提として～」の「資産や歴史」のフレーズだけでは、心もとないと思う。この文章に「文化」を追加し、「資産、歴史、文化」とすればより良いのではないか。後述の「まちが持つ自然や個性、人々のつながり」を包含して、文化と言えと思う。</p>	意見を踏まえて、修正する。	<p>■将来像に向けた目標</p> <p>○変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう</p> <p>気候変動や災害の激甚化、人口構造の変化等、私たちが取り巻く環境は大きく変化していきます。私たちの「まち」も、常に時代や社会の変化に対応することを求められています。</p> <p>これまでにあった資産や歴史を守ることは前提として、一方で、変化に向き合い進化に変えていくこと、まちが持つ自然や個性、人々のつながりを大切にしながら変わり続けることで、このまちに住む人々にとって心地よいまちづくりを進めていきます。</p>	<p>■将来像に向けた目標</p> <p>○変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう</p> <p>気候変動や災害の激甚化、人口構造の変化等、私たちが取り巻く環境は大きく変化していきます。私たちの「まち」も、常に時代や社会の変化に対応することを求められています。</p> <p>これまでにあった資産や歴史、<b>文化</b>を守ることは前提として、一方で、変化に向き合い進化に変えていくこと、まちが持つ自然や個性、人々のつながりを大切にしながら変わり続けることで、このまちに住む人々にとって心地よいまちづくりを進めていきます。</p>
20	序論・基本構想	最新技術	26	<p>説明の中で、価値観を変えるというような言葉があり、軽い違和感を覚えた。</p> <p>価値観はむしろ共有することが必要、理解が必要であり、それで変えるべきは視点と思考と行動と考えている。2040年には高齢の方が相当数になると、つまり、幅広い世代の人がこの佐賀市で生きているという価値観を共有する方向で、今回のキーワードであるバックカスティングということで考える必要がある。</p>	「価値観を変える」という表現については、見直しを行う。	<p>AI等の最新技術とデータを活用したまちづくり</p> <p>【方針】</p> <p>価値観を変え、佐賀らしさを引き立てるまちづくり（仮）：2040年の暮らしを支え、幸福を実感できる佐賀市へ</p> <p>【内容】</p> <p>（略）</p> <p>目指す方針は、「価値観を変え、佐賀らしさを引き立てるまちづくり」です。</p> <p>（略）</p> <p>最新技術とデータの活用によって、物質的な豊かさ＝便利から、精神的な豊かさ＝幸福に価値観が変化し、それに合わせたまちづくりにシフトしていく。このことが2040年の暮らしを支え、幸福を実感できる佐賀市となるようなまちづくりを目指します。</p>	<p>AI等の最新技術とデータを活用したまちづくり</p> <p>【方針】</p> <p><b>社会が人に合わせることで</b>、佐賀らしさを引き立てるまちづくり（仮）</p> <p>：2040年の暮らしを支え、幸福を実感できる佐賀市へ</p> <p>【内容】</p> <p>（略）</p> <p>目指す方針は、「<b>社会が人に合わせることで</b>、佐賀らしさを引き立てるまちづくり」です。</p> <p>（略）</p> <p>最新技術とデータの活用によって、物質的な豊かさ＝便利から、精神的な豊かさ＝幸福を<b>重視する視点</b>に変化し、それに合わせたまちづくりにシフトしていく。このことが2040年の暮らしを支え、幸福を実感できる佐賀市となるようなまちづくりを目指します。</p> <p>※体系図についても、適宜修正を行う。</p>
21	3文化・スポーツ	文化の魅力高め未来へ	39	<p>「2040年に目指す市民等の姿」2の主なポイントについて、</p> <p>2点目を「市民が文化を身近に感じ、文化芸術活動へ参加すること」に修正し、3点目を「文化の保存や継承活動が活発で、市民が誇れる歴史を生かしたまちであること」に修正した方が良く考える。</p>	文言を修正する。	<p>■主なポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの多様な文化芸術が活き、新しい文化が創造されていること</li> <li>・文化を身近に感じ、保存や継承活動が活発であること</li> </ul>	<p>■主なポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>佐賀の歴史や文化が大切に継承されていること</b></li> <li>・<b>市民が文化を身近に感じるとともに、新たな文化が創造されていること</b></li> </ul>

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
22	3文化・スポーツ	する・みる・ささえるスポーツの推進	40	<p>スポーツ振興について、県のSSPなどと連動して進められたら良いのではないかと。その中の視点として、佐賀市は障がい者スポーツが盛んだが、資金面などで活動の維持が難しく、活性化しきれていない。2024以降のスポーツ文化についても目を向けた方がよいと思う。また、学校や企業でも連携や取組が進んでいるため、計画にそれらの観点も含まれていると良いのではないかと。</p>	<p>SAGA2024国スポ・全障スポ開催を契機に、「する」スポーツだけでなく、「みる」スポーツ「ささえる」スポーツの観点から、スポーツに関わる人が増えていることを想定し、作成している。</p> <p>施策1「する・みる・ささえるスポーツの推進」⑤の記載内容に、佐賀県や企業等との連携の視点を追記する。なお、学校との連携については、他の行政分野に含まれることで整理している。</p> <p>また、障がい者スポーツに関しては、施策1「する・みる・ささえるスポーツの推進」④に記載しているとおり、スポーツボランティアや指導者を育てるなどの環境づくりを推進していきたい。</p>	<p>⑤健康増進、介護予防、経済振興など、他の行政分野とも連携し、スポーツの重要性を周知・啓発し、スポーツの習慣化を推進します。</p>	<p>⑤健康増進、介護予防、経済振興など、他の行政分野や県、企業等とも連携し、スポーツの重要性を周知・啓発し、スポーツの習慣化を推進します。</p>
23	3文化・スポーツ	文化の魅力を高め未来へ	40	<p>「2文化の魅力を高め未来へ」について、</p> <p>②文化が持つ多様な価値や魅力について、最新技術を取り入れながら分かりやすく発信し、伝統文化の保存・継承に努めます。</p> <p>③市民が様々な文化に親しむ鑑賞や体験・発表の機会を提供します。</p> <p>に修正した方がよいと考える。</p>	<p>文言を修正する。</p>	<p>① 市民が暮らしの中で多様な文化芸術活動に触れたり、新たな文化の創造に取り組みやすい環境づくりを推進します。</p> <p>② 文化が持つ多様な価値や魅力について、最新技術を取り入れながら分かりやすく発信し、文化の保存・継承に努めます。</p> <p>③ 市民が身近に文化芸術に触れる機会や発表の場をつくれます。</p> <p>④ 江戸期の風情が残る佐賀城下町を、市民が誇れる場所となるよう歴史を生かした公園整備や街並み保存などに取り組みます。</p>	<p>① 本市には、歴史や風土のなかで育まれてきた佐賀ならではの歴史遺産や伝統文化などが数多くあり、大切に継承されるよう取組を推進します。</p> <p>② 市民が暮らしの中で多彩な文化芸術活動に触れ、自ら取り組む機会を創出します。</p> <p>③ 文化が持つ多様な価値や魅力を、最新技術を取り入れながらわかりやすく発信します。</p> <p>④ 江戸期の風情が残る佐賀城下町を、市民が誇れる場所となるよう歴史を生かした公園整備やまちなみ保存などに取り組みます。</p>

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
24	7コ ミニ ティ		47	自治会や協議会など、名称に固い印象があると楽しくなさそうだと感じる。自己犠牲を伴うようにみえ、参加しなければならぬものだという意識になると、参加したいと思う人が減る。例えば「スポーツ草刈り」、「スポーツクラブ」など、表現の工夫によって参加者が増えたケースもある。言い方によって活動の印象が大きく変わると思うので、工夫できると良いのではないか。 P47に「みんなが参加しやすく…」とあるが、「みんなが楽しく」等参加したくなるような文言にしてはどうか。	「みんなが楽しく」と同じような意味合いの表現を入れて、文言を修正する。	■前文 (前略) 私たちは、みんなが参加しやすく、心地よい暮らしを実現するための仕掛けづくりに積極的に取り組んでいます。	■前文 (前略) 私たちは、 <b>まちづくりに関わる活動に、誰もが気軽に楽しみながら参加できるよう、また、</b> 心地よい暮らしを実現するための仕掛けづくりに積極的に取り組んでいます。
25	7コ ミニ ティ	自分らしく幸せに暮らす社会の実現	47 48	主なポイントの1つ目の文末、「同時に他人を思っていること」というフレーズについて、口頭では「同時に他人を思い合っていること」という説明であったが、思い合っていることという言葉が大事だと思ふ。 またそれに伴って、P48の「2 自分らしく幸せに暮らす社会の実現」というフレーズがあるが、「自分らしく幸せに暮らす」は個人個人がぶつかり合うようなイメージがある。フレーズとしては、「自分らしく幸せに暮らしあう」のほうが望ましいと思ふ。	主なポイント「同時に他人を思っていること」、施策「自分らしく幸せに暮らす社会」という表現については、見直しを行う。	■主なポイント ・個性や生き方等の違いを認め合い、自分を大切にすると同時に他人を思っていること  ■施策名 2 自分らしく幸せに暮らす社会の実現	■主なポイント ・個性や生き方等の違いを認め合い、自分を大切にすると同時に <b>互いを思い合っていること</b>  ■施策名 2 自分らしく幸せに <b>暮らし、支え合う</b> 社会の実現
26	10行政 経営		53	行政と市民がともに見られるようなキャッチコピーや合言葉があると活動しやすいと思う。計画の内容が行政からの一方通行にみえ、市民がサービスを受ける側だという印象が強い。行政経営は行政だけで行うものではないので、市民も参画する仕組みがあった方がよいと思う。市民の役割がもう少し反映されていても良いのではないか。	「2040年に目指す市民等の姿」の1項目目では、佐賀市に関わりたい市民を増やす目標を掲げており、ご意見の趣旨をたいへん心強く受け止めている。ご意見を踏まえ、当該政策の冒頭部分の説明に一部追記を行う。	■前文 少子・高齢化・人口減少が進行する中、限られた職員数で多様化し続ける市民ニーズにスピード感をもって対応する必要があります。そのためには、「市政」に見える化し、垣根なく、さまざまな声を大切にしながら、変化に挑み続ける姿勢が重要です。	■前文 少子・高齢化・人口減少が進行する中、限られた職員数で多様化し続ける市民ニーズにスピード感をもって対応する必要があります。そのためには、「市政」に見える化し、垣根なく、さまざまな声を大切に <b>し、市民とともに、</b> 変化に挑み続ける姿勢が重要です。
27	10行政 経営	信頼される持続可能な行政運営	54	行政が主体となって女性が活躍できる場所を明確に示す必要があると考える。子育てや高齢者のお世話のことなど、どうしても女性にしかわからない観点があるため、そこをすくいあげてほしいと感じる。	本市では、性別に関係なくすべての職員が、適材・適時・適所で業務に従事できる体制の構築を目指している。	②効率的で効果的なしごとのやり方を追求することで、限られた職員数でも、多様化する市民ニーズに的確に応えられる体制を強化します。	②効率的で効果的なしごとのやり方を追求し、 <b>すべての職員が主体性を持って活躍することで、</b> 限られた職員数でも、多様化する市民ニーズに的確に応えられる体制を強化します。

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】																																																																																																																								
28	基本計画	SDGs	56	SDGs 関連表の「1 貧困をなくそう」について、コミュニティの取組のうち、自立した生活を支援するという項目が該当するのではないか。自立した生活の支援が貧困をなくすことに繋がると考える。	意見を踏まえて、修正する。	■政策とSDGs 関連一覧表 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">対応するSDGs</th> <th>1 貧困をなくそう</th> <th>5 ジェンダー平等を促進しよう</th> <th>11 持続可能な都市とコミュニティを築こう</th> </tr> <tr> <th colspan="2">基本政策</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>子育て・教育</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>02</td><td>健康・福祉</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>03</td><td>文化・スポーツ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>04</td><td>経済・観光</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>05</td><td>農林水産</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>06</td><td>生活・環境</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>07</td><td>コミュニティ</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>08</td><td>防災・安全</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>09</td><td>都市・交通</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>10</td><td>行政経営</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	対応するSDGs		1 貧困をなくそう	5 ジェンダー平等を促進しよう	11 持続可能な都市とコミュニティを築こう	基本政策					01	子育て・教育	○	○		02	健康・福祉	○	○		03	文化・スポーツ				04	経済・観光			○	05	農林水産				06	生活・環境			○	07	コミュニティ		○	○	08	防災・安全			○	09	都市・交通			○	10	行政経営			○	■政策とSDGs 関連一覧表 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">対応するSDGs</th> <th>1 貧困をなくそう</th> <th>5 ジェンダー平等を促進しよう</th> <th>11 持続可能な都市とコミュニティを築こう</th> </tr> <tr> <th colspan="2">基本政策</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>子育て・教育</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>02</td><td>健康・福祉</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>03</td><td>文化・スポーツ</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>04</td><td>経済・観光</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>05</td><td>農林水産</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>06</td><td>生活・環境</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>07</td><td>コミュニティ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>08</td><td>防災・安全</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>09</td><td>都市・交通</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>10</td><td>行政経営</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	対応するSDGs		1 貧困をなくそう	5 ジェンダー平等を促進しよう	11 持続可能な都市とコミュニティを築こう	基本政策					01	子育て・教育	○	○	○	02	健康・福祉	○	○	○	03	文化・スポーツ			○	04	経済・観光			○	05	農林水産			○	06	生活・環境			○	07	コミュニティ	○	○	○	08	防災・安全			○	09	都市・交通			○	10	行政経営		○	○
対応するSDGs		1 貧困をなくそう	5 ジェンダー平等を促進しよう	11 持続可能な都市とコミュニティを築こう																																																																																																																											
基本政策																																																																																																																															
01	子育て・教育	○	○																																																																																																																												
02	健康・福祉	○	○																																																																																																																												
03	文化・スポーツ																																																																																																																														
04	経済・観光			○																																																																																																																											
05	農林水産																																																																																																																														
06	生活・環境			○																																																																																																																											
07	コミュニティ		○	○																																																																																																																											
08	防災・安全			○																																																																																																																											
09	都市・交通			○																																																																																																																											
10	行政経営			○																																																																																																																											
対応するSDGs		1 貧困をなくそう	5 ジェンダー平等を促進しよう	11 持続可能な都市とコミュニティを築こう																																																																																																																											
基本政策																																																																																																																															
01	子育て・教育	○	○	○																																																																																																																											
02	健康・福祉	○	○	○																																																																																																																											
03	文化・スポーツ			○																																																																																																																											
04	経済・観光			○																																																																																																																											
05	農林水産			○																																																																																																																											
06	生活・環境			○																																																																																																																											
07	コミュニティ	○	○	○																																																																																																																											
08	防災・安全			○																																																																																																																											
09	都市・交通			○																																																																																																																											
10	行政経営		○	○																																																																																																																											
29	基本計画	SDGs	56	SDGs 関連表の「11.住み続けられるまちづくりを」について、すべての政策に関連する項目であると考え。	意見を踏まえて、修正する。																																																																																																																										
30	基本計画	SDGs	56	SDGs 関連表において、行政経営の「5 ジェンダー平等を実現しよう」に○がないことが寂しいと感じる。女性が活躍しやすい環境は、公務員こそ実現させやすいのではないか。まずは行政から積極的に進めてほしいと思う。	意見を踏まえて、修正する。																																																																																																																										

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
----	------	----	---	------	------	------------	---------

■こども・教育・福祉分科会【01子育て・教育／02健康・福祉】

31	基本計画	横断的な視点	34	<p>大学との連携について、生涯教育の項目に記載があるが、佐賀県の大学が5つあるうちの4つが佐賀市に集中している現状を考えると、もっと大学との連携についての記載があっても良いと思う。大学があることを市民が認識し、市民ももっと大学を活用しようと共有してほしいと考える。</p>	<p>横断的視点のうち、「柔軟性」において、意見を踏まえた修正を行う。</p>	<p>④柔軟性…柔軟性を高め、変わり続ける社会へ A I等の新しい技術の進歩や新しい発想は日々生みだされており、世の中は急速に変化し続けています。これからの時代に適応していくためには、変化やその予測を機敏に察知し、素早く対応していく姿勢が求められます。時代に取り残されることがないように、変わることを恐れず、新しいものを次々と取り入れていくことで、変わり続ける社会を目指します。</p>	<p>④柔軟性…柔軟性を高め、変わり続ける社会へ A I等の新しい技術の進歩や新しい発想は日々生みだされており、世の中は急速に変化し続けています。これからの時代に適応していくためには、変化やその予測を機敏に察知し、素早く対応していく姿勢が求められます。時代に取り残されることがないように、変わることを恐れず、新しいものを次々と取り入れていくことで、変わり続ける社会を目指します。また、大学や企業等が集積している利点を生かし、様々な主体と連携しながら、より柔軟で多角的な視点からまちづくりを進めていきます。</p>
32	基本計画	横断的な視点	34	<p>多様性について考えると、基礎データの中に外国人の人口データも含めるべきではないか。外国人留学生、外国人労働者、その家族の問題など、佐賀県の中でも佐賀市はグローバル地域の課題先進地となると考えている。大人も子どもも含めて、外国人の日本語教育や、外国人の子育て問題についても大きなテーマとして考えて欲しい。また、人材確保の観点について、介護福祉士のコースの7割は留学生であり、観光人材も留学生が増えている。地方はより外国人人材のニーズがあり、市の施策として、外国人に対する移住・定住などの国際化についての施策を強く打ち出すべきではないか。</p>	<p>前回の分科会で、「国際」の観点については「横断的視点」のうち、「②多様性」の中に含めることで整理していたが、意見を受け、新規項目として、「国際性」の項目を追加する。</p>	<p>■横断的視点 それぞれの分野の枠を超えた横断的な視点として、「主体性」「多様性」「持続性」「柔軟性」の4つの視点から横断的に施策を展開します。 (略) ②多様性…多様性を理解し、尊重する社会へ 社会情勢や構造は常に変化しており、市民の価値観や生活スタイル、ジェンダーなどの多様性を認め合う社会の実現が求められています。 (略)</p>	<p>■横断的視点 それぞれの分野の枠を超えた横断的な視点として、「主体性」「多様性」「持続性」「柔軟性」「国際性」の5つの視点から横断的に施策を展開します。 (略) ②多様性…多様性を理解し、尊重する社会へ 社会情勢や構造は常に変化しており、市民の価値観や生活スタイル、ジェンダー、グローバル化などの多様性を認め合う社会の実現が求められています。 (略) ⑤国際性…グローバルな視点を持ち、世界に開かれた社会へ 技術の進歩や世界経済との結びつきなどを背景に、グローバル化は急速に進展しており、経済や観光、教育などあらゆる分野においてグローバルな視点で物事を捉えることが求められています。 「日本国内の佐賀」だけでなく、「世界の中での佐賀」にも目を向け、地域の魅力を磨きながら発信し、世界に開かれた社会を目指します。</p>

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
33	1 子育て・教育	多様な未来につながる教育の推進	35	「2 子どもたちは、目標を持って主体的に楽しく学んでいる」の主なポイントの3つめ、「子どもたちがいつまでも楽しく学べる環境があること」について、2040年の目指す姿としては、「学ぶ楽しさを知り興味を満喫している」といったもっと掘り下げた記載だとより良いと思う。	「子どもたちがいつまでも楽しく学べる環境があること」については、環境整備の視点で記載をしているが、その視点がより明確になるよう、「いつまでも」を削除し、「子どもたちが楽しく学べる環境があること」と記載を修正する。	■主なポイント 子どもたちがいつまでも楽しく学べる環境があること	■主なポイント 子どもたちが楽しく学べる環境があること
34	1 子育て・教育	多様な未来につながる教育の推進	36	P36の2の②で「誰一人取り残すことのない教育」教育とはどのようなものか。「取り残す」「取り残さない」という言葉はマイナスのイメージがあり、プラスの表現として、「子どもたちの個性が認められ、学校教育を通じて教育の大切さを推進していきます」などとしてはどうか。 P35に「誰一人、子どもたちを取り残さないこと」とあり、P36に同じような言葉となっているため、書き直すのが良いと感じた。皆が楽しく学べるようにという、インクルーシブ教育などの言葉を使ってはどうか。 「誰一人取り残さない」は国やSDGsで使っていることは知っているが、一般向けには難しいため、「全ての子どもたちに学びと育ちを保障する教育」など、やわらかい・わかりやすい言葉が良いのではないか。 確かに「令和の日本型教育」で使われているが、その副題は「多様な子供たちの資質能力を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」と書いてある。そこまで書かれればわかるが、人によってはネガティブにとらえられる恐れがあるので、「個別最適」「社会と繋がる」「協働的な学び」など、言葉を捕捉されるとよい。	P35の主なポイントとP36の取組方針の記載が重複していたため、取組方針を修正する。	②誰一人取り残すことのない教育を推進します	②多様な教育ニーズに対応し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図り、全ての子どもたちの可能性を最大限に伸ばす教育を推進します。
35	1 子育て・教育	地域全体で支える子どもの健全育成	36	取組方針の「①家庭・地域・企業・学校が～」の中には、おそらくNPO法人や社会福祉法人等も含まれていると思うが、これらの団体についても記載して欲しい。参画するときには多様な手段があるということを明示したほうが良いと考える。	NPOや各種団体等地域型・志願型双方を包括する「市民活動団体」の表記を追加する。	①家庭・地域・企業・学校が一体となり、全ての大人が子育てに関わって、「子どもへのまなざし運動」を推進します。 ②リアルとオンライン双方の子ども・若者の居場所づくりを充実させます。	①家庭・地域・企業等・学校等が一体となり、全ての大人が子育てに関わって、「子どもへのまなざし運動」を推進します。 ②市民活動団体等と協働し、リアルとオンライン双方の子ども・若者の居場所づくりを充実させます。

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
36	2 健康・福祉	地域共生社会をめざす福祉の充実	38	若年層の自殺率は先進国の中でも高いため、社会的孤立というフレーズは計画内に記載があっても良いと思う。孤立化を防ぐためにもみんなで繋がりあうという考え方が大事だと思う。今後は、高齢者、若者、子どもなどの社会的孤立に関する横断的な課題が積みあがってくると思う。それに対応する形での教育・福祉という枠組みを超えて共同で人材を確保し担い手不足を解消する戦略と施策展開が必要となってくる。また、各支援者の役職（PTA、民生委員など）に応じた役割の整理が負担軽減のためにも必要だと思う。	・社会的孤立の問題について、取組方針に追加する。 ・人材の確保、担い手不足について、取組方針を新たに追加する。	○みんなが地域づくりに参加すること ③互いに見守り支え合うネットワークづくりを推進し、課題を抱える人の早期発見等、安心して暮らすことができる地域づくりを進めます。	○みんなが地域づくりに参加すること ③互いに見守り支え合うネットワークづくりを推進し、 <b>孤独・孤立などの課題を抱える人の早期発見等、安心して暮らすことができる地域づくりを進めます。</b> ⑥担い手のすそ野を広げるために、これまで関わる機会が少なかった人や、多様な主体と連携を図ることで、誰もが様々な形で地域づくりに参加できる仕組みを作ります。
37	2 健康・福祉	地域共生社会をめざす福祉の充実	37 38	高齢者・認知症・障がい者など特定の人を対象にしている印象を受ける。地域住民すべての人が対象ではないか。また、P48のコミュニティの「2 自分らしく幸せに暮らす社会の実現」について、地域共生社会の実現も含まれていると考えるため、健康・福祉の分野との関連性を整理する必要があるのではないかと。	・生活困窮者、障がい者、高齢者などの文言を削除し、就労をキーワードに誰にでも当てはまるよう⑤⑥⑦を集約修正 ・コミュニティの分野では、「共生社会」の実現とされているが、福祉分野においては「地域共生社会」として整理している。 ・主なポイント「みんなが地域づくりに参加すること」 ⇒義務的に感じられるため修正、取組方針を追加	■主なポイント みんなが地域づくりに参加すること  ○みんなが地域づくりに参加すること ⑤生活困窮者等の就労や自立支援に向けて、行政・関係支援機関が連携を図り、地域社会への参加を促進します。 ⑥障がい者が地域で安心して自立した日常生活を送ることができるよう、就労による賃金向上の取組や地域生活支援を推進します。 ⑦高齢者の就労や社会貢献等の活動の場や機会を充実させることで、仲間づくりや生きがいを推進します。	■主なポイント みんなが地域づくりに参加できること  ○みんなが地域づくりに参加できること ⑤ <b>就労が困難な状況にある方が、自立して地域生活を送ることができるよう、行政・関係支援機関が連携を図り、就労支援を通して地域社会への参加を促進します。</b> ⑥担い手のすそ野を広げるために、これまで関わる機会が少なかった人や、多様な主体と連携を図ることで、誰もが様々な形で地域づくりに参加できる仕組みを作ります。
38	2 健康・福祉	地域共生社会をめざす福祉の充実	38	子ども、若者、高齢者も含むそれぞれの世代の人が、困ったときにどこに相談したらいいのかわからないという問題について、視野を幅広く持ち体制の充実を図ることが大事だと思う。例えばNPO法人等との提携やチャット相談の窓口などの対策が考えられる。	子育て分野においては、令和7年度から「こども家庭センター」を設置して、こどもや子育てに関する総合的な窓口を設置して、市民の困りごとに一元的に対応する。相談に応じて、適切な窓口の案内等を行う。 NPO法人等との提携やチャット相談窓口などの対策という意見について、取組方針を修正	1 地域共生社会を目指す福祉の充実 ○多様な手段による相談の受け止めや支援体制があること ④どこに相談してよいか分からない方や複合化・複雑化した相談を抱える方に対し、アウトリーチによる相談支援や伴走型支援を推進します。	1 地域共生社会を目指す福祉の充実 ○多様な手段による相談の受け止めや支援体制があること ④どこに相談してよいか分からない方や複合化・複雑化した相談を抱える方に対し、アウトリーチなど <b>多様な手段による相談の受け止めや、伴走型支援を推進します。</b>

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案 [諮問時点]	答申 [修正後]
39	2 健康・福祉	地域共生社会をめざす福祉の充実	38	関連する主な個別計画に誤りがあったため修正する。	-	地域福祉計画、高齢者福祉計画	地域福祉計画・地域福祉活動計画、高齢者保健福祉計画
40	2 健康・福祉	地域共生社会をめざす福祉の充実	38	究極に福祉は何かを考えると、「権利を守る」ことが大きな意味を持つと考える。そう考えると、子育て・教育・健康・福祉という分野であれば、どこかで「権利を守る」という言葉がどこかにあってもよいのではないかと。計画では、コミュニティ分野の「自分らしく幸せに暮らす社会の実現」において、人権という言葉も出ているが、教育福祉においてもどこかに追加してほしい。	この総合計画では、権利について重視し、全体的に取り組むという観点から34ページ②多様性の部分に全体的に取り組む横断的な視点として掲載させていただいている。「権利を守る」という言葉をどこかに追加してほしいとの意見については、取組方針を修正する。	○多様な手段による相談の受け止めや支援体制があること ②多様な福祉ニーズに適切に対応するため、行政や各種相談支援機関等とのネットワークを強化し、包括的な支援を推進します。	○多様な手段による相談の受け止めや支援体制があること ②多様な福祉ニーズへの適切な対応や、生活や財産などの権利を擁護する取組を進めるため、行政や各種相談支援機関等とのネットワークを強化し、包括的な支援を推進します。

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
----	------	----	---	------	------	------------	---------

■ 経済・産業分科会【04経済・観光／05農林水産】

41	基本計画	横断的な視点	34	<p>【経済・産業分科会】</p> <p>計画素案を読んで、経済・観光、農林水産においても人を大切にしていると感じる。そこでは佐賀の住民・関わる人などまとめられているが、実際の生活では外国人やLGBTの方などもいるが、それが見えにくい。また、グローバルという視点も足りていないのではないか。</p>	<p>他の委員からも同様の意見をいただいております。横断的視点に新たに「国際性」という項目を追加する方向で調整する。</p>	<p>■横断的視点</p> <p>それぞれの分野の枠を超えた横断的な視点として、「主体性」「多様性」「持続性」「柔軟性」の4つの視点から横断的に施策を展開します。</p> <p>(略)</p> <p>②多様性…多様性を理解し、尊重する社会へ</p> <p>社会情勢や構造は常に変化しており、市民の価値観や生活スタイル、ジェンダーなどの多様性を認め合う社会の実現が求められています。</p> <p>(略)</p>	<p>■横断的視点</p> <p>それぞれの分野の枠を超えた横断的な視点として、「主体性」「多様性」「持続性」「柔軟性」「国際性」の5つの視点から横断的に施策を展開します。</p> <p>(略)</p> <p>②多様性…多様性を理解し、尊重する社会へ</p> <p>社会情勢や構造は常に変化しており、市民の価値観や生活スタイル、ジェンダー、<b>グローバル化</b>などの多様性を認め合う社会の実現が求められています。</p> <p>(略)</p> <p>⑤<b>国際性…グローバルな視点を持ち、世界に開かれた社会へ</b></p> <p>技術の進歩や世界経済との結びつきなどを背景に、<b>グローバル化</b>は急速に進展しており、経済や観光、教育などあらゆる分野において<b>グローバルな視点</b>で物事を捉えることが求められています。</p> <p>「日本国内の佐賀」だけでなく、「世界の中での佐賀」にも目を向け、<b>地域の魅力を磨きながら発信し、世界に開かれた社会</b>を目指します。</p>
42	4 経済・観光	働きがいのある企業を増やす	42	<p>1—②の産学官の連携では、「民」という言葉を入れて産学官民の連携ではどうか。</p>	<p>意見を踏まえて修正する。</p>	<p>②多様な働き方の実現や、スキルアップ・スキルチェンジに向けた人材育成を産学官連携で促進します。</p>	<p>②多様な働き方の実現や、スキルアップ・スキルチェンジに向けた人材育成を産学官<b>民</b>の連携で促進します。</p>
43	4 経済・観光	働きがいのある企業を増やす	42	<p>企業誘致に関しては、熊本県のように外から呼んでくる例もあるが、これからは企業を育てていくのが重要である。若者・女性・高齢者が創業していくことで、地元から生み出し育てていく観点も入れるべきではないか。</p>	<p>④は企業誘致、③は創業支援、起業家育成に関する取組方針を記載している。</p> <p>創業支援、起業家育成は重要と考えているため、産業支援プラザを拠点に取組を進めていきたい。</p>	<p>③人的ネットワークの構築・拡大等によるオープンイノベーションを促進し、先進的なビジネスへの挑戦を生む環境整備を行います。</p>	<p>③人的ネットワークの構築・拡大等によるオープンイノベーションを促進し、<b>創業</b>や先進的なビジネスへの挑戦を生む環境整備を行います。</p>

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
44	4 経済・観光	働きがいのある企業を増やす	42	<p>働きがいのある企業を増やすためには、受け入れる側の企業への施策が重要なのではないかと考えます。P38「1 地域共生社会を目指す福祉の充実」の⑤～⑧では生活困窮者や障がい者、高齢者の就労について書かれているが、その就労の受け入れ態勢を整える施策が4 経済・観光に含まれるべきだと考える。</p> <p>特別支援を受けていることも多いが、20歳を超えると自分で就労しなくてはならず、一般企業への就職ができずに就労施設で働いている方もいる。学生以外にも、高齢者や生活困窮者への就労をどう確保するかという視点から考える必要があるのではないかと考えます。</p>	<p>「働きがい」には、稼ぐことと同時に、働きやすさなどそれ以外の企業の価値があることで、誇りをもって働けるという意味を込めている。</p> <p>指摘のとおり、受け入れる側の視点も重要であるが、人手不足の問題から企業側がどれだけ人材を確保できるかといった雇用創出が近年の課題となり、局面が変わってきていると感じる。しかし、引き続き多方面から考える必要があるため、指摘事項についても追記する。</p>	①～④	<p>①～④</p> <p>⑤ 誰もが安心して意欲的に働くことができるよう、労働環境の向上と勤労者福祉の充実を促進します。</p>
45	4 経済・観光	価値のある観光体験の提供	41	<p>目指す姿の主語として、多くは市民であるが、2つ目の観光だけ「市を訪れる人が」となっている。その主体は市民であるべきかと思うので、できれば、「市民が」観光客に対して、という形にできないか。</p> <p>佐賀市民が自分たちの観光資源に気づいていないまま、来た人に気付いてもらおうというのはおかしい。市民が気づいた上で観光客におもてなしをして、佐賀市を気に入ってファンになってもらいたい。そういった点を踏まえて文言は検討してほしい。</p>	<p>委員からの意見を踏まえ、「市民」を主語とする表現を加えて修正する。</p>	<p>■ 2040年に目指す市民等の姿</p> <p>2 市を訪れた人は、多様な観光体験を通じて魅力に気づき、佐賀のファンになっている。</p>	<p>■ 2040年に目指す市民等の姿</p> <p>2 市民は日常にある地域の魅力を内外に伝え、市を訪れた人は多様な観光体験を通じて、佐賀のファンになっている。</p>

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
46	4 経済・観光	価値のある観光体験の提供	42	観光について、佐賀らしい観光という表現があるが、PTA会長として活動した際に、佐賀市には北から南まで広いエリアがあり、市町村合併した地域を含めて、それぞれで地域らしさが異なると感じた。県としては唐津や武雄では市のらしさのイメージがあるが、佐賀市ではあまりイメージがつかない。取組でパルーンが初めにあるがあくまでイベントで常時あるのではなく、地域ごとに観光・集客要素がある。佐賀市らしさや佐賀市の観光とまとめるのではなく、佐賀市の地域ごとの特徴や方針を打ち出した方が、外部の人にはわかりやすいのではないかと。できれば、佐賀らしさだけでなく、有明海や山など、地域地域の特性を生かした観光を提供できるような文言に変えていただけるとよいと思う。	委員からの意見を踏まえ、「地域の特性」を織り込んだ表現に修正する。	②マーケティングに基づき、佐賀の魅力国内外に発信するとともに、市民が世界に誇れる地域ブランドの創出を目指します。	②マーケティングに基づき、 <b>地域の特性を生かした</b> 佐賀の魅力国内外に発信するとともに、市民が世界に誇れる地域ブランドの創出を目指します。
47	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	佐賀の魅力を高めるためには、佐賀市民だけではなく、県外、福岡・関西・関東の人が投資をしたいと思えるようにしないとけない。また、例えば病院は既に人口が確保されている場所にインフラとして建てるものであり、人を集めるために病院を建てるのではない。まずは、人をどう集めるかが重要である。	人々が集まる環境をつくることは重要である。そのうえで、市内だけでなく、市外や県外からも、まちなかへの投資を呼び込みエリアの価値を上げ、そのことで新たな投資を呼び込むという好循環を作っていきたい。委員からの指摘を踏まえて取り組み方針に加える。	①まちなかで必要な機能がそれぞれつながる便利でコンパクトな「まちなか」を形成します。	①まちなかで必要な機能がそれぞれつながる便利でコンパクトな「まちなか」を形成し、 <b>新たな投資を呼び込む好循環を生み出します。</b>
48	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化に、バリアフリーについての観点を、方針に反映させて欲しい。先日、佐賀駅前ですら歩きづらさを感じることもある、車いすで利用できるお店を探して苦労したという話を聞いた。健常者でない方が気軽に集まるには不自由することがあるので、多くの人が集まるのであれば、バリアフリーの観点も必要であると感じて意見した。	街なかへの来訪者が楽しく過ごす・回遊したいまちを達成するためには、バリアフリーやノーマライゼーションは大事な要素であると考え。意見を踏まえ、バリアフリーの視点も考慮した記載を検討	③住む人はもちろんのこと、訪れる人にとっても居心地のよい、歩きたくなる空間を創出します。	③住む人はもちろんのこと、 <b>誰にとっても居心地のよい、訪れたい空間を創出します。</b>

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
49	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	【総合・地域分科会】 「3ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化」について、次世代人材を育成するまちづくりのビジョンに共感している。④ではさまざまな世代と表現されているが、次世代人材の観点がもう少し反映されても良いのではないかと考える。	人口減少に伴い都市機能の縮退が予期される中においては、今後の社会を担う「次世代人材」の観点は、必要な視点であるとする。意見を踏まえ、「次世代」を意識した内容としたい。	④ 様々な世代が誇りと愛着を持ち、誰もが安心して住み続けられる「まちなか」を創出します。	④ <b>子どもの頃から</b> 誇りと愛着を持ち、 <b>様々な世代の</b> 誰もが安心して暮らし続けることができる「まちなか」を創出します。
50	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	第2回分科会意見に対する対応方針案（資料①）No.13について、他の箇所では「小さい頃から」という表現になっているが、④で「小さな子どもの頃から」という表現にしていることには何か意図があるのか。			
51	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	以前、鍋島小学校で、大豆を生産、加工、販売までを体験した当時の生徒は今でもその時の印象が強く残っている。生産側に立つ体験だけではなく、消費者側までつながる体験を、学校教育や地域教育などで行ってはどうか。	小さい頃の体験は重要であり、生産から加工・販売までの体験事業が、事業者との連携による取組については、今後事務事業の中で協議したい。	【1 感動を与え、稼ぐ農業の実現】 記載なし	【1 感動を与え、稼ぐ農業の実現】 ⑤ <b>小さい頃から農業に触れるなど農業の魅力を活用して、"農"のあるまちづくりを推進します。</b>
52	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	小学生の稲作体験に関わって、子供たちと楽しい体験をさせてもらったため、今後も続けてほしい。うちの家の畑が草で荒れていたが、息子が草刈りから野菜を育てて収穫するところまでやってくれて、楽しそうに生き生きとしていた。自分で作る感動を持った若い人が増えてくれればと思う。	令和5年度に農業体験を実施した市内の小学校は36校中33校となっている。そのうち稲作体験を実施した学校は19校ある。今後も農業体験の継続に努める。		
53	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	森林環境教育を行うとあるが、興味を持つことには小さいころに触れた経験が大きいと、良い取組と思う。教育機関等と連携して、林業以外でも取り組んでほしい。	農業に関しては、小学校での農業体験はJAや農家等の協力を得ながら実施しており、また、市事業として、有機農業実践者による親子向け農業体験イベントや農業研修など消費者交流事業を実施している。小さい頃から農業に触れる機会があることは、農業に魅力を感じるためにも非常に大切なことと捉えていることから、意見を踏まえ、新たに項目を織り込む。		

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
54	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	体験型授業は今はやっていないとのことだが、佐賀市独自で取り組んでほしい。	小さい頃から農業に触れる機会があることは、農業に魅力を感じるためにも非常に大切なことと捉えていることから、意見を踏まえ、新たに項目を織り込む。また、生産から加工・販売までの体験事業の実施については、今後事務事業の中で協議したい。		
55	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	農業は方針の数が多いので、最重要な方針の明示か、優先度を決めた方が良く考える。また、①と④「労働力確保」、②と③と⑦の「生産効率化」に関する方針は重複していると思うので、統合した方が良いのではないかと。私自身は、重点的にやることとして、一番重要なのは労働力確保と思っている。	施策の方針数が多く優先順位が分かりにくかったため、方針数を絞り込む。「労働力確保」に関する方針①・④、「生産効率化」に関する方針③、「生産体系構築」に関する方針②・⑦、「生産体系・販路拡大」に関する方針⑤・⑥、「体験・農の機能」に関する方針⑧を整理する。	<p>①多様な担い手（Uターン、外国人、企業参入など）や労働力の確保に力を入れます。</p> <p>②米・麦・大豆は、農地の集積・集約化を推進し、農家の大規模化を図ります。また、施設園芸については、最先端の機器導入により、多収量・高品質化を図ります。</p> <p>③スマート農業やその効果を発揮する基盤整備を推進し、利益を上げるため、経費削減や作業の効率化・省力化を図ります。</p> <p>④国・県と連携して、新規就農者を育成するため、経営開始に係る支援やサポート体制を充実させます。</p> <p>⑤消費者や実需者のニーズに応じた生産体系の構築を行います。</p> <p>⑥地場製品のブランド化に磨きをかけ、販路拡大を行っていきます。</p> <p>⑦担い手への農地利用集積や農地の高度利用による生産性の向上、多様化に対応したほ場や農道の大規模化など基盤整備を推進します。</p> <p>⑧小さい頃から農業に触れるなど農業の魅力を活用して、“農”のあるまちづくりを推進します。</p>	<p>①担い手の育成と農業・農村を支える多様な人材の育成を図り、労働力の確保に力を入れます。</p> <p>②先端技術や機器の導入によるスマート農業を推進し、作業の効率化・省力化や農作物の高品質化を図ります。</p> <p>③担い手への農地の集積・集約化や農地の高度利用に対応したほ場や農道の大規模化など基盤整備を推進し、生産性の向上を図ります。</p> <p>④消費者や実需者のニーズに応じた生産体系の構築により、地場製品のブランド化に磨きをかけ、販路拡大を行っていきます。</p> <p>⑤小さい頃から農業に触れる機会を提供し、農業の魅力を活用した“農”のあるまちづくりを推進します。</p>

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
----	------	----	---	------	------	------------	---------

■くらし・環境分科会【06生活・環境／08防災・安全／09都市・交通】

56	序論・基本構想	序論	7	<p>【パブリックコメント】</p> <p>10「脱炭素社会の実現」を削除し「移動自由度の高い社会の実現」に差し替えて市民アンケートで最も多かった「交通の利便性強化」は市民の重要課題です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●旅行や仕事で使う高速交通手段の充実（新幹線、航空便数、自動車道の充実）</li> <li>●日常の買物、通院などの交通手段の維持（路線バス、タクシー、送迎ボランティア）</li> </ul>	<p>「脱炭素社会の実現」は、近年の気候変動等に対応するため必要であり、計画で見据えるべき社会の潮流として削除できないものとする。</p> <p>「交通の利便性強化」については、ご指摘のとおり必要な観点と考えているため、「コンパクトなまちづくり」の中で交通について記載する。また、交通手段の充実・維持の内容については、社会の潮流ではなく、施策の内容として整理を行う。</p>	<p>■社会の潮流</p> <p>⑨コンパクトなまちづくり</p> <p>○人口減少が進む中でも元気なまちを維持するためには、都市機能を効果的に誘導し、集約することで、まち全体の利便性を上げることが大切です。</p> <p>○これに合わせて、集約した各拠点を結ぶコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりが必要です。</p>	<p>■社会の潮流</p> <p>⑨コンパクトなまちづくり</p> <p>○人口減少が進む中でも元気なまちを維持するためには、都市機能を効果的に誘導し、集約することで、まち全体の利便性を上げることが大切です。</p> <p>○これに合わせて、集約した各拠点を<b>公共交通等で</b>結ぶコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりが必要です。</p>
57	基本計画	横断的な視点	34	<p>【くらし・環境分科会】</p> <p>生物多様性の保全は国連が定めた課題であり、2040年を見据えた計画の中でしっかりと押さえるべき観点である。序論の社会潮流の項目に、「脱炭素社会の実現」の追加を提案する。また、劣化しつつある自然もたくさんあるため、自然再生の趣旨を追記するより良いのではないか。</p>	<p>「生物多様性」については、重要な観点と認識しており、踏まえるべき社会の潮流というより、どちらかという全ての施策を打つ上で踏まえるべき視点ではないかと考えており、P34の横断的視点に記載したい。</p> <p>特に、3番目に「持続性」という項目があり、この項目の中に委員ご指摘の「生物多様性」の観点を追加する方向で整理を行う。</p>	<p>③持続性・・・持続性を追求し、次世代につながる社会へ</p> <p>気候変動から地球を守るために、今、世界的に具体的な対策が求められています。</p> <p>自然環境に負荷の少ないエネルギーの活用や脱炭素型のライフスタイルを進めることで、カーボンニュートラルの実現を目指します。また、産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をグリーンエネルギー中心に移行させた経済社会システム全体の変革にも注目していきます。</p>	<p>③持続性・・・持続性を追求し、次世代につながる社会へ</p> <p>気候変動から地球を守るために、今、世界的に具体的な対策が求められています。</p> <p>自然環境に負荷の少ないエネルギーの活用や脱炭素型のライフスタイルを進めることで、カーボンニュートラルの実現を目指します。また、産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をグリーンエネルギー中心に移行させた経済社会システム全体の変革にも注目していきます。<b>加えて、生物多様性を保全し、自然再生の取組を進めることにより、今ある環境を次世代へとつなげていきます。</b></p>
58	6生活・環境		45	<p>生活・環境の冒頭のリード文について、「自然保護」のフレーズがあるが、近年のトレンドを踏まえると「自然環境の保全」のほうが適していると考えます。</p>	<p>意見を踏まえ、差替える方向で検討したい。</p> <p>リード文では、自然環境や生物多様性の保全を含む広義の文言を用いて記載したい。</p>	<p>（略）今ある佐賀らしい自然を守り、将来にわたって快適に暮らしていくために、市民、事業者、行政それぞれがライフスタイルの見直しや脱炭素、自然保護など、自分たちが暮らす地球環境の未来へ思いを馳せながら、主体的に考え、実行していけるよう取り組んでいきます。</p>	<p>（略）今ある佐賀らしい自然を守り、将来にわたって快適に暮らしていくために、市民、事業者、行政それぞれがライフスタイルの見直し、<b>脱炭素化の推進、自然との共生</b>など、自分たちが暮らす地球環境の未来へ思いを馳せながら、主体的に考え、実行していけるよう取り組んでいきます。</p>
59	6生活・環境	脱炭素が当たり前の社会の実現	46	<p>昨年、水素基本戦略が改定され2040年を目処に水素エネルギーの活用を拡大していく方針が定められている。これを踏まえて、⑤の文章においても、「研究」に留まるだけでなく、「普及」や「活用」といった記載にする方が望ましいのではないか。</p>	<p>意見を踏まえ、修正を行う。</p>	<p>⑤産学官が連携し、次世代エネルギーの供給・需要の拠点形成に向けた研究を行います。</p>	<p>⑤産学官が連携し、次世代エネルギーの供給・需要の拠点形成に向けた研究を行い、<b>その普及と活用に向けて取り組みます。</b></p>

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案 [諮問時点]	答申 [修正後]
60	6生活・環境	「捨てるからし」から「活かすからし」への転換	45 46	3Rの取組は従来進めてきたかと思うが、近年はサーキュラーエコノミーへの移行が環境省でも示されているため、この考え方を計画内に盛り込んでもいいのではないかと思う。	意見を踏まえ、修正を行う。	<p>主なポイント</p> <p>市民一人ひとりが3Rに取り組むことができる環境があること</p> <p>プラスチックの資源循環をはじめとして持続的なリサイクルシステムを確立すること</p>	<p>主なポイント</p> <p>市民一人ひとりが3Rに取り組むことができる環境があること</p> <p>プラスチックの資源循環をはじめとして<b>持続的に資源を利用する循環経済へ移行すること</b></p>
61	6生活・環境	豊かな自然と心地よい暮らしの調和	45	2040年に目指す市民等の姿の「自然や動物と共存するまち」のフレーズについては、植物の観点が抜けているので、「自然や生物と共存するまち」に変更するのが望ましい。	意見を踏まえ、修正を行う。	<p>■ 2040年に目指す市民の姿</p> <p>3 市民は、豊かな自然を守るため、自らできることに取り組み、自然や動物と共生するまちで快適に暮らしている。</p>	<p>■ 2040年に目指す市民の姿</p> <p>3 市民は、豊かな自然や<b>身近な生活環境</b>を守るため、自らできることに取り組み、<b>自然や生物と共存するまち</b>で快適に暮らしている。</p>
62	6生活・環境	豊かな自然と心地よい暮らしの調和	45	主なポイントについて、外来生物についての記載は、右側の取組に同様の内容が書かれているので、記載不要ではないか。主なポイントの構成としては、1つめに「市の多様な自然や生態系の価値を知って理解すること」、2つめに「生物多様性を高めるために、自然環境の保全が行われていること」として、知ることと行動を持ってくるとしっくりくるのでいいと思う。 今の佐賀の自然を知り・親しみ、これからも保全していくという記述をもう少し加えても良いのではないか。	意見を踏まえ、修正を行う。	<p>主なポイント</p> <p>生物多様性や動植物の保全・共生に関する理解が浸透すること</p> <p>市民と協力して外来生物への対応を強化すること</p>	<p>主なポイント</p> <p>佐賀市の多様な自然や生態系について<b>関心を持ち、自然環境の保全や再生に取り組んでいること</b></p> <p>市民と協働して<b>良好な生活環境の維持に取り組むこと</b></p>
63	6生活・環境	豊かな自然と心地よい暮らしの調和	46	2040年に目指す市民等の姿では「自然や動物」と記載しているが、主なポイントで「動植物」になっているため統一させるべきではないか。	意見を踏まえ、修正を行う。	<p>①環境学習の機会を市民に提供するなど、生物多様性に関する理解を促進し、佐賀市が誇る自然環境の保全や回復を行います。</p> <p>②有明海の希少な動植物や産物等の恵みを生活や産業活動に持続的に活用し、ひがさを拠点として交流・学習の機会を創出します。</p>	<p>①環境学習の機会を市民に提供するなど、生物多様性に関する理解を促進し、佐賀市が誇る自然環境の保全や<b>再生</b>を行います。</p> <p>②有明海の希少な<b>生物</b>や産物等の恵みを生活や産業活動に持続的に活用し、ひがさを拠点として交流・学習の機会を創出します。</p>
64	序論・基本構想	序論	6	【パブリックコメント】 02 激甚化する災害への備え に追加 地震、大規模火災を追加してください。今回の能登半島地震を見れば、佐賀市でも直下大地震の恐れはあります、私は「地震」と「大規模火災」が心配です。（市も市民も佐賀に地震はないと思いつまないために）	「地震」について追記する。	<p>■ 社会の潮流</p> <p>②激甚化する災害 への備え</p> <p>○気候変動 により、多くのまちで10年間に1回以上の水害が起きています。</p>	<p>■ 社会の潮流</p> <p>②激甚化する災害 への備え</p> <p>○<b>近年、日本の多くの場所で、水害、地震等の自然災害が発生しています。</b></p>

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】
65	序論・基本構想	序論	6	<p>【パブリックコメント】</p> <p>②激甚化する災害への備え  激甚化・頻発化する災害により、令和元年8月の前線に伴う大雨のような同様の被害に見舞われることが考えられる中、「災害が発生した際には被害ができる限り小さく済むように、自助・共助・公助が連携して日頃からの十分な備えを行う」という社会の潮流認識に賛同いたします。  なお、ご指摘のあった減災ともに、激甚化している災害を踏まえると、復旧・復興の備えも重要な視点ではないかと考えます。</p>	「復旧」の意味を含む「防災」という文言を用いて修正する。	<p>■社会の潮流</p> <p>②激甚化する災害への備え</p> <p>○災害が発生した際には被害ができる限り小さく済むように、自助・共助・公助が連携して日頃からの十分な備えを行う必要があります。</p>	<p>■社会の潮流</p> <p>②激甚化する災害への備え</p> <p>○このような状況の中で、自助・共助・公助が連携して、<b>防災対策を十分に行い、備えることが必要です。</b></p>
66	8 防災・安全		49	<p>コミュニティが常時だけでなく災害時などの有事にも機能する状態にしていくこと、また、定住している人だけではない多様な暮らし方が認められコミュニティに関わり続けることのできる状態を作ることが必要で、計画の中を含めるのは難しいかもしれないが、人と人の繋がりは他の分野にも大きな影響を与えるような考え方ができると思う。</p>	<p>防災・安全のリード文の中に、平時の備えが非常時の安全確保につながるという文言を追加する。この文言の中に、指摘の意見の内容も読み込ませたい。</p>	<p>■前文</p> <p>台風や地震等の自然災害、低平地という佐賀市の特性から悩まされる水害、そして、多様化・複雑化する犯罪や交通事故。このような脅威から私たちの暮らしを守るには、日々の備えが重要です。  安全な暮らしを実現するため、ハード・ソフトの両面から備えを充実させたまちづくりを進めます。</p>	<p>■前文</p> <p>台風や地震等の自然災害、低平地という佐賀市の特性から悩まされる水害、そして、多様化・複雑化する犯罪や交通事故。このような脅威から私たちの暮らしを守るには、日々の備えが重要です。<b>そのことが、非常時の安全確保につながります。</b>  安全な暮らしを実現するため、ハード・ソフトの両面から備えを充実させたまちづくりを進めます。</p>
67	8 防災・安全	地域ぐるみによる生活者の安全確保	50	<p>「3 地域ぐるみによる生活者の安全確保」のうち、常時の安全確保の観点で、「1 総合的な防災・危機管理対策の充実」の災害時の安全確保にも繋がる・・・というような言葉があってもいいのではないかと。</p>	<p>各施策の政策のリード文に、指摘のあったニュアンスを追加する。</p>		

No	基本政策	施策	頁	意見内容	対応方針	計画素案【諮問時点】	答申【修正後】						
68	9都市・交通	人と環境に配慮した道路ネットワーク整備	51 52	<p>「① 道路ネットワークが充実することで、移動時間の短縮や渋滞の緩和を図り、地域経済の生産性向上やCO2排出量の削減に寄与します。」の記載について、「寄与」ではなく、CO2排出量ゼロを目指すなどの表現が適切ではないか。また、P45の市民等の目指す姿の中の「市民生活や事業活動に必要なエネルギーは、再生可能エネルギーで賄われている。」との整合性も取れていないのではないか。加えて、環境面では交通GXの記載も必要ではないか。</p>	<p>分科会での回答のとおり、市の脱炭素の施策に対して、道路ネットワークが充実することに関する効果として、エネルギー消費を減らすことはできても、直接的に「CO2排出量実質ゼロ」を実現することは不可能である。</p> <p>あくまで、間接的に「CO2排出量の削減に寄与する」ことであるため、表現の修正は行わない。</p> <p>また交通GXに関する記載検討について、本計画素案は、国のGXの取り組みと合致しており、現状の表現で、これらの交通GXの理念は包含していることから、検討の結果、「交通GX」を単語としては明記しない。</p>	<p>■ 2040年に目指す市民等のすがた</p> <p>主なポイント</p> <table border="1"> <tr> <td>市内の拠点間をつなぐ幹線道路ネットワークを充実すること</td> <td>快適で安全に通行できる交通環境を整備すること</td> <td>道路インフラの長寿命化や維持・管理の高度化・効率化を実現すること</td> </tr> </table> <p>■ 取組方針（右ページ）</p> <p>① 道路ネットワークが充実することで、移動時間の短縮や渋滞の緩和を図り、地域経済の生産性向上やCO2排出量の削減に寄与します。</p> <p>② 安全で快適な歩行空間や自転車走行空間の整備を図ります。</p> <p>③ 最新技術やデジタル技術を活用し、道路インフラの長寿命化や維持管理の高度化・効率化を図ります。</p>	市内の拠点間をつなぐ幹線道路ネットワークを充実すること	快適で安全に通行できる交通環境を整備すること	道路インフラの長寿命化や維持・管理の高度化・効率化を実現すること	<p>■ 2040年に目指す市民等のすがた</p> <p>主なポイント</p> <table border="1"> <tr> <td>快適で安全に通行できる交通環境を整備すること</td> <td>市内の拠点間をつなぐ幹線道路ネットワークを充実すること</td> <td>道路インフラの長寿命化や維持・管理の高度化・効率化を実現すること</td> </tr> </table> <p>※順番の入れ替え</p> <p>■ 取組方針（右ページ）</p> <p>① 安全で快適な歩行空間や自転車走行空間の整備を図ります。</p> <p>② 移動時間の短縮や渋滞の緩和を図り、地域経済の生産性向上やCO2排出量の削減に寄与する道路ネットワークを充実させます。</p> <p>③ 最新技術やデジタル技術を活用し、道路インフラの長寿命化や維持管理の高度化・効率化を図ります。</p>	快適で安全に通行できる交通環境を整備すること	市内の拠点間をつなぐ幹線道路ネットワークを充実すること	道路インフラの長寿命化や維持・管理の高度化・効率化を実現すること
市内の拠点間をつなぐ幹線道路ネットワークを充実すること	快適で安全に通行できる交通環境を整備すること	道路インフラの長寿命化や維持・管理の高度化・効率化を実現すること											
快適で安全に通行できる交通環境を整備すること	市内の拠点間をつなぐ幹線道路ネットワークを充実すること	道路インフラの長寿命化や維持・管理の高度化・効率化を実現すること											